

割れ窓理論

校長 阿部 英幸

『ディズニーランドには〇〇がない』

ディズニーランドでは、来てくれた人たちに存分に楽しんでもらうために、なくしているものがあるそうです。

1つ目は、鏡です。『ディズニーランドには鏡がない』

ディズニーランドは夢の国ですから、訪れている人々は皆、夢の国の住人ということになり、全く違う世界にいるという設定です。鏡を見て現実に戻ることはないように、洗面台には鏡が置かれていません。鏡があるのは洗面台から少し離れた場所になっています。

2つ目は、時計です。『ディズニーランドには時計がない（少ない、目立たない）』

ディズニーランドでは時間を忘れて楽しんでもらうために、一部施設を除いて時計がほとんど設置されていません。また、設置されていても分かりにくくなっています。

3つ目は、ゴミです。『ディズニーランドにはゴミがない』

ディズニーランドは、他の遊園地やテーマパークに比べて圧倒的にきれいだと言われます。なぜディズニーの園内は全くゴミが落ちていないと思えるほどにキレイなのでしょう。それは、人の心に働きかけているからです。

例えば、一軒の空き家があるとします。ある日、その空き家の窓が割られてしまいました。空き家の窓が割られたまま放置されて数日。だんだんと周辺的环境が悪くなっていきます。他の窓が割られたり、空き家の周辺にゴミが捨てられたりしてしまいます。

それは、人が「散らかっているところや汚れているところは散らかしてもいい、汚してもいい」という気持ちになってしまうからです。これを割れ窓理論と言います。

ディズニーランドではたくさんの清掃スタッフがゴミをサッと掃いて常に園内を綺麗に保っています。人は綺麗な場所にはゴミのポイ捨てをしなくなります。美しく保たれている場所は自然と綺麗に使うようになるのです。

これは学校でも同じです。教室に落ちているゴミを放置すると、「ゴミに対して関心を払っていない」というサインとなり、やがて教室全体がきたなくなります。また、姿勢が崩れた状態で学習していると、「姿勢を気にしなくてもいい」というサインとなり、やがて教室全体が落ち着かなくなります。

二葉小学校は、とてもきれいで、落ち着いているので、気持ちよく学校生活が送れます。これからも、ディズニーランドのようにきれいに使いたくなるような二葉小学校を目指し、学ぶ環境を整えていきたいと思えます。

